

2019年10月12日～2019年10月18日

2019年10月21日

## 先週の回顧

ブラジル・レアルは、週を通して見ると対円、対米ドルともに概ね横ばいでした。また、2年国債金利は低下しました。

米中通商交渉に関して、中国の関係者が米国から年間500億米ドル相当の農産物の購入は難しいと明らかにしたことで、市場の警戒感が高まりました。しかしその後、トランプ米国大統領が11月に開催されるアジア太平洋経済協力会議（APEC）での米中首脳会議にて、米中貿易合意が署名されるとの考えを示したことで再び楽観的な見通しが強まり、週を通して見るとブラジル・レアルは概ね横ばいの推移となりました。

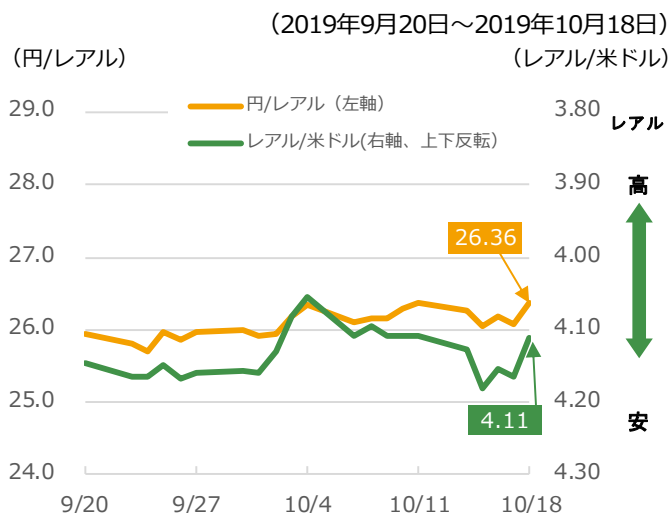
経済指標に関しては、8月の経済活動指数が発表されました。8月の経済活動指数は前月・前年比とも市場予想を下回り、引き続き経済の足取りが弱いことが示されました。

## 今週の見通し

今週はIPCA-15インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

また、今週22日（現地）には年金改革法成立に向けた最後の投票が行われる予定です。先週行われた投票前最後の討論の後、投票に向けて楽観的な見通しが広まっており、年金改革がよいよ成立すると見込まれます。

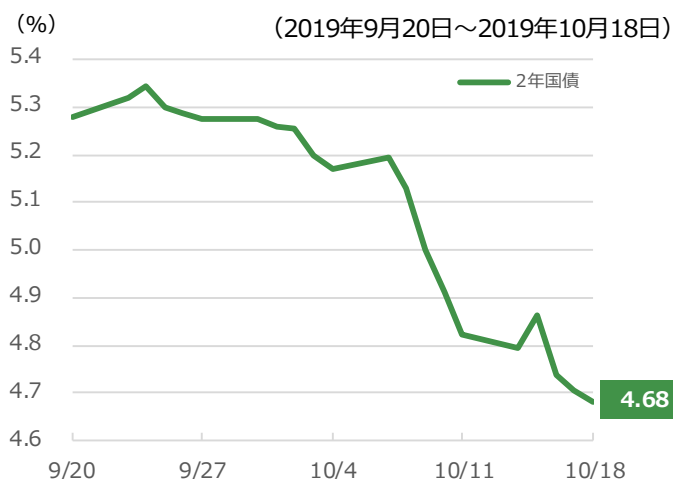
## ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

## ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。